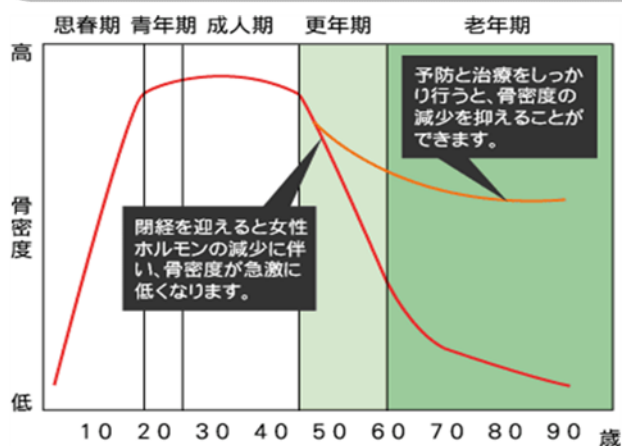




骨密度測定（骨粗しょう症検査）

骨を構成しているカルシウムなどのミネラルの量を測定する検査です。このミネラル成分が不足してくると骨がもろくなり、骨折しやすくなります。骨密度検査は、骨粗しょう症や代謝性骨疾患の診断に役立ちます。

骨粗しょう症のリスクが高まる原因は、女性では50歳前後の閉経で、男性では男性ホルモンの低下です。骨粗しょう症は女性に多い病気です。しかし、骨折後の死亡リスクの上昇や生活障害の度合いは男性の方が女性より深刻なので注意が必要です。また体内のカルシウム不足は、骨粗しょう症だけでなく胃や肺、血管などに悪影響を及ぼし、他の病気を引き起こします。定期的に骨密度を測定することで、骨の変化が分かり治療や生活改善の指標になります。



健康な人の骨



骨密度(骨量)が
高くて丈夫

骨粗しょう症の人の骨



骨密度(骨量)が
低くてスカスカ…



検査時間は約10分程度です。

検査台に仰向けに寝ていただき、膝を少し曲げて検査を行います。息を止めたりする必要はありません。



当院は腰椎の骨密度測定をします

腰椎は骨代謝が活発で骨の変化が現れやすい「海綿骨」が豊富に含まれている為、他の骨と比べて骨の変化をとらえやすくなります。現在腰椎の*DEXA法が骨密度測定の標準となっています。

* DEXA法とは、微量なX線をあてて正確な骨密度を測定する、日本骨粗鬆学会のガイドラインにおいても推奨される優れた検査方法です。



検査結果

結果を印刷してお渡しします。測定値は年齢別の平均値とともに表示され、とても分かりやすくなっています。また過去の検査結果と比較して骨密度の変化もグラフで見られます。

骨密度測定はご自身の骨の状態を把握するために重要な検査です。積極的に検査を受けることをおすすめします。

【お問い合わせ先】

市立敦賀病院 総合健診センター 0770-22-3611